

基本方針④

原子力災害を乗り越える

放射線量を測定・公表する

環境放射線モニタリング業務	5,452万円
放射線量測定業務	2,484万円

安全な飲料水を確保する

飲料水安全確保対策事業	3,543万円
-------------	---------

村復興のシンボルへ

村内復興拠点エリア整備事業	6,952万円
公民館建替事業	9,476万円



基本方針⑤

までいブランドを再生する

村外での営農再開を支援する

被災地域農業復興総合支援事業	1億1,241万円
避難農業者一時就農等支援事業	700万円
畜産農家支援事業	548万円

村内営農再開に向けて支援する

農地・水・環境保全向上対策事業	922万円
福島県営農再開支援事業	712万円



飯舘村の財政状況指標

平成26年の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。

平成26年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にありますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯舘村の財政状況
一般会計での赤字の程度 (実質赤字比率)	15%	算定なし
全会計での赤字の程度 (連結実質赤字比率)	20%	算定なし
財源の中で借金返済額の占める割合 (実質公債費比率)	25%	6.6%
全会計を対象に、一般会計などが将来負担する借金の財政規模に対する割合 (将来負担比率)	350%	算定なし

一人ひとりの復興を目指す歩み

～平成26年度に実施した主な施策～

平成26年度一般会計では、復旧・復興事業に27億5,138万円が費やされ、歳出全体の4割を超える決算となりました。

平成26年度に村が行った主な施策について、復興計画の5つの基本方針に基づき紹介します。

基本方針①

生命（いのち）を守る

避難生活の健康を守る

予防接種・各種健診事業	5,105万円
仮設住宅入居高齢者等健康管理業務	604万円
健康リスクコミュニケーション事業	554万円
内部被ばく検査事業	283万円

子どもの医療費を支援する

乳幼児医療費助成事業	274万円
------------	-------



基本方針②

子どもたちの未来をつくる

避難先での子育てを支える

被災児童生徒等就学支援費	3,692万円
子育て支援センター建設事業	3,139万円
子どもの心のケア事業	251万円

中学生の学力向上を目指す

村塾事業	147万円
------	-------

子ども達に多様な経験を

沖縄までいの旅・ドイツ未来への翼事業	1,505万円
--------------------	---------



基本方針③

人と人がつながる

村民同士のつながりを維持する

いやしの宿運営事業	2,133万円
地域づくり事業	1,945万円
敬老会	465万円
いいだて村民ふれあい号業務	163万円

避難先での新たなつながりをつくる

新しいコミュニティづくり支援事業	1,344万円
------------------	---------

